



The 30th Annual Meeting of the Japan Society for Respiratory Care and Rehabilitation
第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会

コーヒブレイクセミナー7 呼吸器分野でのオンライン診療の可能性

座長

平井 豊博 先生

京都大学大学院医学研究科呼吸器内科学

演者

長谷川 高志 先生

特定非営利活動法人日本遠隔医療協会



2021年

日時

3月20日(土) 14:40 ~ 15:20

会場

D会場 B1F 第1展示場 分割B面

〒606-8343 京都市左京区岡崎成勝寺町9番地の1 京都市勧業館 みやこめっせ

- 学術集会の事前参加登録者を対象に共催セミナーの事前参加登録を受付いたします。
- 本セミナーはハイブリッド方式（現地+オンライン）にて開催いたします。
学術集会の参加登録方法は、学術集会のHPをご確認ください。

共催：第30回日本呼吸ケア・リハビリテーション学会学術集会 / 株式会社 星医療酸器グループ

コーヒブレイクセミナー7

呼吸器分野でのオンライン診療の可能性

長谷川 高志 先生 :特定非営利活動法人日本遠隔医療協会

1. 遠隔医療とは何か

我が国では 1990 年代半ばから遠隔医療の実用化が始まった。専門医が他の医師を支援する DtoD 形態として、放射線や病理画像の遠隔診断の普及が始まり、現在でも実施規模が最大である。

患者の診療を遠隔から行う DtoP 形態として、心臓ペースメーカーや在宅酸素療法の遠隔モニタリングが発展した。移動通信の広帯域化やスマートフォンの発展により、もう一つの DtoP 形態の遠隔医療としてオンライン診療の普及が始まった。

2. 原理と有効性

オンライン診療はテレビ電話画面を通じた視診と問診により診断や指導を行う。医学上の制約は大きい日常生活での身体状況を観察指導できる利点がある。

薬効やバイタルについて特定の評価指標はない。睡眠時無呼吸症候群の CPAP 療法や在宅酸素療法では装置による介入（酸素供給等）をモニタリングして、脱落を抑制するべく指導する。効果として脱落率や予後改善などに有効である。

3. 制度

遠隔医療は医師法上の位置づけの確立に長い年月を掛けた。その要点は厚生労働省発出の「オンライン診療の適切な実施に関する指針」に示されている。診療報酬として、オンライン診療料、PAP 等の遠隔モニタリング加算がある。

4. 呼吸器分野での利点

患者数が増加している睡眠時無呼吸症候群等の患者の QOL や予後改善にたいへん有用である。

5. 現状と今後の展望

診療報酬等の制約の緩和が進めば、より多くの患者への診療が可能になる。オンライン診療と遠隔モニタリングの融合は進ん

でいないが、今後の改善が期待できる。

6. COVID19 関連事項

2020 年はパンデミックで社会が激動した。オンライン診療についても、様々な時限的緩和が行われ、活用された。

もっと診る。診つづけられる。「かかりつけ強化」システム

対面診療を効果的に補完し、よりよい診療につなげていく



オンライン診察



医師と患者さんでの
ビデオ診察を提供

モニタリング



患者さんの生活情報を
継続的に捉える

オンライン問診



CAT、mMRCでCOPDの
重症度を経時的に把握

(株)星医療酸器は(株)インテグリティ・ヘルスケアの正規代理店です。